

鏡川流域パートナーシップだより No.223 R7.7.3



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「ぼっちり」ユーザー「furufuru」さんの鏡川流域への関わり方！

高知県安芸市在住の「ぼっちり」ユーザー「furufuru」さんが、鏡川流域に深い関わりを寄せてくださっています！日々、アプリを通じて、鏡川流域への想いや、鏡川沿いを散策した際の写真を送ってくださり、鏡川への情熱が止まらない「furufuru」さん！現在、「ぼっちり」のスポットメンバーとして、**日頃の散策や発見した動植物の情報をクイズにして発信**してくださっています♪

そんな「furufuru」さんからいただいた菖蒲洞の写真とコメント(☆印のもの)をご紹介します！

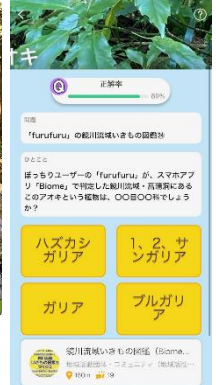
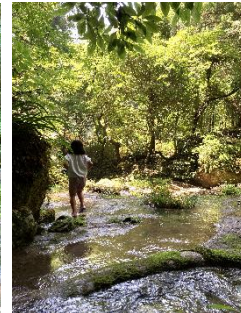


☆6月の「高知市環境啓発イベント in イオンモール高知 2025」に行った際、高知市の職員さんに教えていただいたことがきっかけで「ぼっちり」を始めました。アプリ内の体験やクイズのすべてが鏡川流域に関係したものであることに気づいたときにはもう**ぼっちりから離れられなくなっていました(笑)**



☆鏡川流域のお気に入りスポットは**菖蒲洞**で、初めて祖母に連れて行ってもらったときの、入り口付近の、真夏の屋外とは思えないほどの**天然の涼しさ・気持ちのよさ**は忘れられません。今でも夏になると、祖母がしてくれたように子どもたちを連れて涼みに行っています。

☆今は安芸市に住んでいますが、「ぼっちり」で知らなかった鏡川を知り、オンライン体験やクイズで親しみがわき、懐かしさと同時に上流域での祖父母との思い出や、下流域で暮らしていたときの友人たちとの思い出など、**楽しかった思い出に鏡川がたくさんあった**ことに気づきました。鏡川に関わるみなさんの思いや関係人口を増やそうという取り組みに触れ、「私も鏡川大好き。自分なりに関わりたい！」と思い、「もう一步関わりたい！私にできることを考えてみよう！段取り四分でも六分でもはじめよう！」と、「ぼっちり」を楽しみながら鏡川に関わりはじめたばかりです。



休日、鏡川上流域の菖蒲洞を訪れ、お子さんと一緒にスマホアプリ「Biome」を使って生き物探しをする「furufuru」さん。見つけた動植物をもとに毎日クイズを出題してくださっています。



☆小さい頃から祖母の故郷の菖蒲洞に遊びに行っており、春・夏・冬休みなどは、鏡川上流域や菖蒲の山に隣接する里山の自然に触れて育ちました。棚田一面のれんげ畑、青々とした竹林、冬の梅や春の桜・花桃、そして祖父母の地域でも梅やシソ、たけのこの加工品をつくっていたので、きれいなお水と山のものを使った祖母のおいしいごはんが大好きな子どもでした。

社会人になり、鏡川下流域の窓一面に鏡川が見える場所で暮らし、通勤コースも生活圏も鏡川沿いで、今思えばなかなか鏡川づくしでした。



「furufuru」さんが菖蒲洞で発見した動植物をスマホアプリ「Biome」で判定した画面。「大切な思い出いっぱい菖蒲洞の変化に気づけるように、夏だけじゃなく季節ごとに観察しに行こうと思いました」とのことです♪



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android